

会議録要旨

(1) 会議の名称	平成30年度(第1回)国民健康保険運営協議会
(2) 開催日時	平成30年8月31日(金) 19:30~21:00
(3) 開催場所	あわら市役所 101会議室
(4) 出席委員氏名	白越 不朝 委員、林 明美 委員、真杉 智枝美 委員、坂野 彰 委員、坂井 寿範 委員、西野 暢 委員、池田 美由 委員、赤尾 政治 委員、北浦 博憲 委員、徳丸 敏郎 委員 (計10人)
(5) 欠席委員氏名	佐々木 誠三 委員、大井 尚美 委員 (計2人)
(6) 出席所管課職員	杉本 市民生活部長 【市民課】 内田(課長)、矢部(課長補佐)、高橋(主査)、井上(主事) 【税務課】 青池(課長)、吉田(課長補佐) 【収納推進課】 堀江(課長)
(7) 傍聴人	なし
(8) 会議議題	(1) 平成29年度あわら市国民健康保険特別会計歳入歳出決算について (2) 平成30年度あわら市国民健康保険特別会計補正予算(案)について (3) 国民健康保険税率改定(案)について
(9) 配付資料	・国民健康保険運営協議会資料①~③
(10) 会議内容の要旨	<p><u>(1) 平成29年度あわら市国民健康保険特別会計歳入歳出決算について</u></p> <p>委員 人間ドックの助成事業は申込者の何割が助成を受けているのか。また、併用ドックとはどういう内容か。</p> <p>事務局 近年人間ドックの申込人数が増え、キャンセル待ちが出ている状況である。そのため、平成30年度については定員を20人増やしたところ、ほぼ希望された方に助成できている。併用ドックは、がん検診や血液検査などの一般的な健診項目に脳ドックが加わった内容である。</p> <p>委員 人間ドックは、できるだけ多くの人に受けていただけるようお願いしたい。キャンセル待ちの場合は、昨年受けて、また今年もという人は遠慮していただき、いろんな人に受けていただけるとよい。</p>

委員 被保険者数や世帯数が減っていく中で、一人当たりの医療費はこの10年間で約10万円ぐらい増加している。この状態で推移していくと考えられるのか。

事務局 被保険者が年々高齢化していること、医療の高度化による医療費の増大により、全国的に一人当たりの医療費は年々上昇している状況であるため、30年31年度についても上がっていくものと思われる。

委員 交付金もその分入ってくるのか。

事務局 医療費に応じて国からの支援はあるので、交付金も入ってくることになる。

(2) 平成30年度あわら市国民健康保険特別会計補正予算(案)について

委員 質疑なし

(3) 国民健康保険税率改定(案)について(資産割の廃止)

委員 3ページの基本方針の4番目の低所得者の税額が上がらないよ
うにというのは、低所得者の線引きの金額があるのか。

事務局 低所得者というのはいろいろな段階があり、所得ゼロの人は税額
が上がらないように、所得の低い人は、なるべく上がる額を低く
抑えていきたいと考えている。今回の改定で大事なものは、増額と
なる世帯への影響を一番考えなければならない。

委員 一般的な話だが、税金が安くなった人は黙っていて、税金が上が
った人は上がったと主張するので、細かく説明していくようにお
願いしたい。

事務局 説明については、まず広報で周知していきたいと考えている。

委員 今回は、税率改定案が具体的に出されていて、この税率の改定案
はいい案だと思う。よく考えられていると思う。

事務局 少しずつでも税率が毎年上がるとかえって負担になると思われ
るので、これくらいなら大きな負担になることは少ないかなとい
うことで、2回に分けて改定したいと考えている。

委員 きちんと考えられていると思う。

委員 今回の提案は35年度までが記載されているが、それ以降につい
ては、その時点で考えることになるのか。

事務局 県は、33年から35年度までの運営方針を32年度に定め、その
時点で県内全部が赤字解消できればよいが、そこで税率を県内統
一できなければその時点で考えることになると思う。また、医療
費が上がった場合については、できるだけ国民健康保険税は値上
げせずに基金を取り崩して対応したいと考えている。税率改定は
長いスパンで考えていきたいと思う。

	会長　この案でよろしいと思われる方の挙手を願いたい。
	会長　全員挙手されたので、この案を進めていただくようお願いしたい。
	<u>(4) その他</u>
	事務局　次回の開催日程は、3月頃を予定している。